



2010年6月9日

報道関係者各位

株式会社ツバルの森

佐賀県の建設業界として初となる、環境配慮型ビジネスモデルを 株式会社セリタ建設と株式会社ツバルの森が共同開発

～建設工事における原料調達・加工・輸送・施工で排出される

環境負荷：CO₂を「見える化」し、「ゼロ化」を実現～

環境コンサルティング・プランニング会社である株式会社ツバルの森（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三嶋浩太、以下「ツバルの森」）は、株式会社セリタ建設（本社：佐賀県武雄市、代表取締役：芹田正登志、以下「セリタ建設」）と共同で、環境負荷：CO₂をゼロ化（以下「カーボンゼロ」という）を実現する、環境配慮型ビジネスモデルを開発しましたので、お知らせします。

【「環境配慮型ビジネスモデル 開発プロジェクト」の概要】

プロジェクトの背景

コストからコンプライアンスへと環境施策の導入に対する企業意識の变革が求められる近年、守りではなく攻めの手段としての環境施策の可能性が注目されています。事実、CSRとしての環境活動だけではなく、事業拡大のための環境施策の導入を検討する企業は、近年特に増加傾向にあります。背景は、法人・個人の購買動機の変化への対応だけでなく、取引先企業が定める取引先選定基準を満たすために環境配慮が不可欠、さらには環境配慮型ビジネスモデルをいち早く導入し、競合他社との差別化要素とする等、各社様々となっています。

今回、セリタ建設は、商品・リスク・社会性の全ての側面から環境に影響を及ぼす建設業において、企業のCSR活動としてではなく、商品自体の「環境力」により、顧客価値を高め、競合優位性を築き上げることを目的に、ツバルの森と、環境配慮型ビジネスモデルを共同開発しました。

今回の環境配慮型ビジネスモデルは、セリタ建設が有する環境価値を「強化」・「見える化」し、さらにCO₂排出量：京都クレジットを活用したもので、このような環境配慮型ビジネスモデルは、佐賀県内に本社を置く建設会社で初となる進取性の高い取組みとなります。

各社の役割について

ツバルの森：事業コンセプトの立案、事業プランの構築、商品開発推進、環境負荷算定支援、
ビジネスモデル運用のためのガイドライン作成 etc.

セリタ建設：ビジネスモデル開発 構想構築、商品開発ディレクション、環境負荷算定 情報収集、
開発後の商品展開イメージ構築 etc.

プロジェクトの目的

セリタ建設の新工法 S-RC クレーグランド工法（以下、新工法）は、商品自体が CO2 を固定化するという優れた環境特性を有しています。その新工法に CO2 排出量：京都クレジットを付加することで、その固定化された CO2 量を「見える化」し、さらにプロダクトライフサイクルで排出される CO2 を「ゼロ化」するビジネスモデルを開発することを目的とします。同時に、京都クレジットの取扱いや環境負荷算定等を含む進取性の高いビジネスモデルを、セリタ建設が着実に運用するためのガイドラインを作成します。

今後の展開

今回の環境配慮型ビジネスモデルである新工法の導入促進を図るべく、環境マーケティング・プロモーション施策の策定・導入支援を行う予定です。

特記事項

新工法による CO2 削減効果の算定方法の策定、環境負荷算定作業、ガイドラインの作成に関して、『平成 21 年度佐賀県建設業再生支援緊急対策事業』に認定を受け、助成金を活用しております。

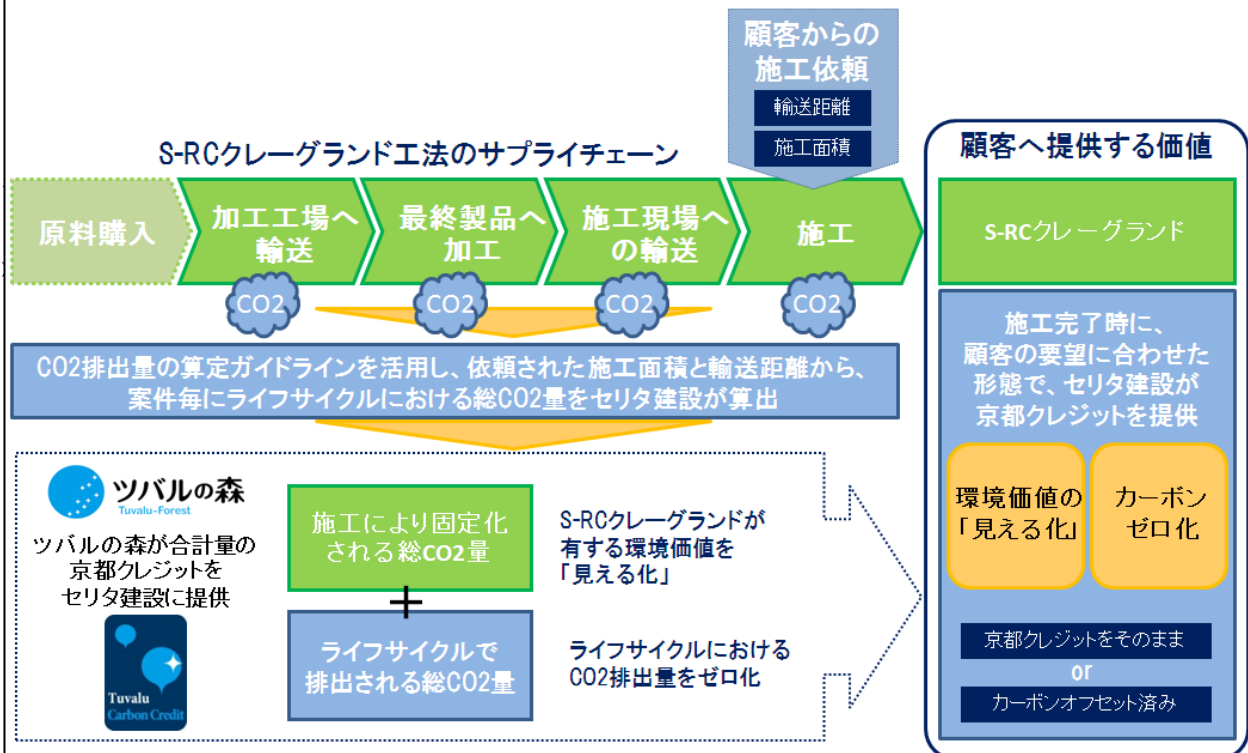
【「環境配慮型 新工法 S-RC クレーグランド工法」の概要】

概要

セリタ建設は、顧客から施工依頼を受けると、工事の積算と同時にライフサイクルで発生する当該案件分の総 CO2 排出量を算定します。ツバルの森は、『新工法が固定化する総 CO2 量+ライフサイクルで排出される総 CO2 量』相当量の京都クレジットをセリタ建設へ提供します。

セリタ建設は、施工完了時に当該クレジットを顧客に提供することで、新工法の「環境価値を見える化」し、「カーボンゼロ化」を実現します。

当該クレジットの顧客への提供方法は、顧客の要望に応じて、当該クレジットをそのまま提供することも、カーボンオフセットした状態で提供することも可能です。



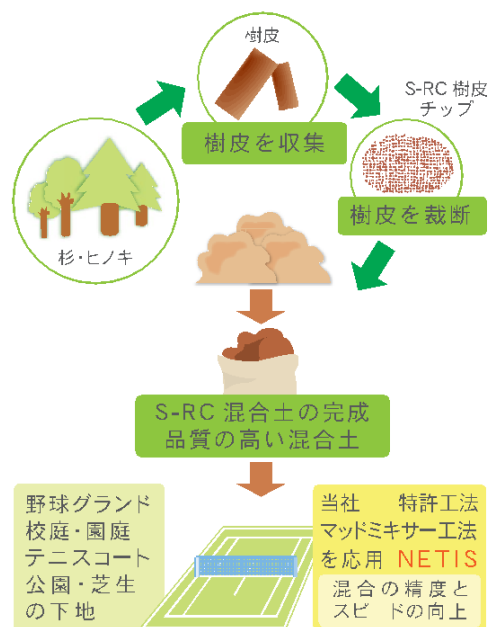
S-RC クレーグランド工法

製材所などでゴミとして出されるスギやヒノキの樹皮を特殊加工して土と混合させた自然素材のリサイクル環境保全型土壌改良工法です。

樹皮を含むため新工法 100m² 当たり、約 2.5 t-CO₂ を固定化するだけでなく、透水性・防塵性・防草性・高不朽性などの性能を自然素材のみで発揮します。

主原料は地産地消を基本とし、スギ・ヒノキの間伐材を 100%利用した樹皮を使用しています。

S-RC混合土ができるまで



ツバルの森では、クライアント企業ごとに異なる環境課題に対し、オーダーメイドできめ細やかなコンサルティングを実施するだけでなく、導入支援・販売促進支援まで行うことで、クライアントに実現可能かつ具体的な成果をもたらす環境コンサルティングを、積極的に実施して参ります。

<CO2排出量：京都クレジットについて>

自国（あるいは自社）のCO2等の温室効果ガスの排出削減量が、予め設けられた削減目標値を超えた削減を実現した場合に、その削減余剰分を「クレジット＝排出量」として他の国（あるいは他社）へ売却できる仕組みをいいます。1997年12月に採択された京都議定書の中で、議定書締結国の温室効果ガス削減義務を効率よく達成するために、京都メカニズムという制度として認められています。

その京都メカニズムの下、先進国や企業が発展途上国の排出削減プロジェクトなどに投資を行い、国連の認証によって、削減した分を排出量クレジットとして認められたものを**京都クレジット**と言います。



ツバルの森の京都クレジット
「ツバルカーボンのクレジット」

株式会社セリタ建設について

- 名 称：株式会社セリタ建設
- 代 表：代表取締役 芹田正登志
- 所 在 地：佐賀県武雄市朝日町大字中野 10153-4
- U R L：<http://www.serita.jp/>

株式会社ツバルの森について

ツバルの森は、低炭素社会の実現を目指す、環境コミュニケーション会社です。環境メッセージを伝えたい企業・団体に、二酸化炭素（CO2）などの温室効果ガスの削減に貢献できる環境貢献活動と、販売促進、PR活動、IR活動などを組み合わせた環境コミュニケーションを提供しております。

- 名 称：株式会社 ツバルの森
- 代 表：代表取締役社長 三嶋 浩太
- 所 在 地：東京都千代田区飯田橋 4-7-11
- U R L：<http://www.tuvalu-forest.jp/>

【S-RC クレーグランド工法についてのお問い合わせ】

株式会社セリタ建設 TEL. 0954-23-7733

【本プレスリリースに関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社ツバルの森 広報担当 生川(なるかわ) TEL. 03-6380-9939